長久手会場 企業パビリオンゾーンB

トヨタグループ館

建築面積:2,472㎡ 延床面積:3,333㎡

構造·規模:鉄骨造、地上2階 地下1階

企画・総合プロデュース:電通

基本設計・意匠監修: 建 築/みかんぐみ

外構照明/ぼんぼり光環境計画 展示計画/乃村工藝社

実施設計:建築/大林組名古屋支店一級建築士事務所

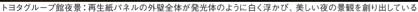
施 工:建築/大林組 名古屋支店

電気/トーエネック・日本電設・ダイダン・住友電設共同企業体

期:平成16年3月~平成17年2月









外周構造体 に設けられた





環境技術展示の照明

外壁には古紙再生紙、内装にはケナフ材など再生可能 な素材を採用。21世紀を考えた地球循環型パビリオン

地球のメカニズムに循環する「地球循環型パビリオン |を基本 コンセプトとした「トヨタグループ館」。長径46m、短径40mの長 円形の平面、高さ約30mのボリュームをもつシアター型パビリオ ンです。内部はコロセウムのような段床と、頭上15m高さの360° のスクリーンが展開され、その映像と共に未来モビリティの可能 性を表現するパフォーマンスが行われています。

建物は仮設建築物の寿命を考慮したことと、3R(リデュース、 リユース、リサイクル)を徹底し、パビリオンの外壁や内壁、内装 には再生可能な材料が使用されています。外周の構造体は、下 地材のC型鋼を摩擦締結工法で組み上げた繊細な外周架構とし、 外壁は特殊加工した再生紙パネルを使用。内壁には一年草のケ ナフを用いた廃材木チップの合板を採用しています。

また小高い丘を上っていくアプローチには、バイオ緑化技術を 活用した花や芝などの環境技術展示が行われており、アプロー チの屋根には芝が貼られ強い日射しを遮る設計としています。

外周の構造体に設置した多用な投光器により再生紙パ ネルの外壁が白く浮き上がり、美しい夜の景観を創出

照明は高さ約30mの外周の構造体の上部と下部に100W・ 150Wビームランプ小形投光器を等間隔で設置し、上方向からと 下方向から照射。C型鋼の外周構造体に細やかな明暗の変化を 生じて明瞭に際立って見えると共に、外壁の白い再生紙パネル全 体に反射した光で浮き上がり、それ自体が発光しているように見 え、昼には見られない美しい景観効果を創り出しています。

またアプローチ照明は柱上部に150Wチョークレス水銀ランプ 投光器を設け、天井に照射した柔らかな間接照明で明るさを確 保し、両側に配置されている花や芝の環境技術展示になってい る花壇には、130Wハロゲンランプ小形スポットライトにより陰影 のある照明効果を創出しながら空間に明るさ感を添えています。

■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
外周構造体	小形投光器	BK-207W	197	110V 100W・150Wビームランプ
アプローチ	スポットライト	IK-207AF (W)	_	150Wチョークレス水銀ランプ
花壇	小形スポットライト	QT-1500	_	130Wハロゲンランプ